



安心とつるおのり下町「川の手」をめぐりて

防災まちづくり瓦版

発行／一寺言問を防災のまちにする会

平成15年12月15日

いちてらこととい
一寺言問／防災まちづくり瓦版
 編集／一寺言問を防災のまちにする会・編集局
 発行／一寺言問を防災のまちにする会
 代表 青木 隆雄
 連絡先／墨田区都市整備担当地域整備課
 〒130-8640 墨田区吾妻橋1-23-20 Tel.(5608)6261

一言会の会長さんが 変わりました

一言会発足から十八年間、会長をお務めいただいた則武勝商さんが、東向島一丁目中町会の会長を変わることとなったため、「一言会会長は参加している町会長の互選で決める」と言う申し合わせにより、一言会の会長も交代することになりました。



青木 新会長

理事会で協議した結果、東向島一丁目中町会の新会長となられた青木隆雄さんが一言会の新しい会長となりました。

則武前会長には、これから名誉会長としてご助言をいただくとともに、理事としても今後ともご活躍いただくこととなります。

則武名誉会長の「一言」
 一言集会所の用地取得など沢山の思い出がございしますが、これからも自分たちのまちの「防災まちづくり」に、一人の理事として協力をしていきたいと思います。今後とも「一言会」に皆さまのご理解とご協力をお願いいたします。

日本ではじめて 「震災復興模擬訓練」 一寺小地区で開催

東京都が提案した「震災復興模擬訓練」は、震災後のまちの復興について、行政だけでなく、住民が主体的に考えることを目的にしています。墨田区では都の提案を受け、この試みを一言会の活動が続き、一寺小地区で開催することになりました。

この訓練は、八月から十一月までに五回のスケジュールで行われ、参加者は延べ百十八人（四回まで）。一寺小地区の各町会から三名程度の代表と、三つの商店会、一寺小学校、建築士事務所協会、事業所としてヒノデワシ（株）、救急医療に詳しい白鬚橋病院、そして一言会理事等が参加しました。

一回目は、行政と専門家から、模擬訓練の説明を受け、参加者が三グループに分かれました。

二回目は、各グループが担当する地域を歩き、災害に弱いところやまちの再建復興に役立ちそうなところを検証して、地図上に書き込みな



なり、百七世帯、二百六十七人の避難者像を想定し、必要な「仕事」「役割」「サービス」等を整理しました。

四回目は、震災後の一ヶ月から二ヶ月の避難の状況やまちの様子、阪神淡路の経験から約三割の世帯（約千五百世帯）がまだ自分の家に戻れないと想定して、どのような仮設の住宅や仕事の場、また組織やサービスを考えたらばよいかを検討しました。

五回目は、震災後の二ヶ月以後に約五百世帯の仮設住宅（限定的市街地）が必要という設定から、「まじこ」「何を」「どのくらい」「どのようにして」つくるのかを検討しました。

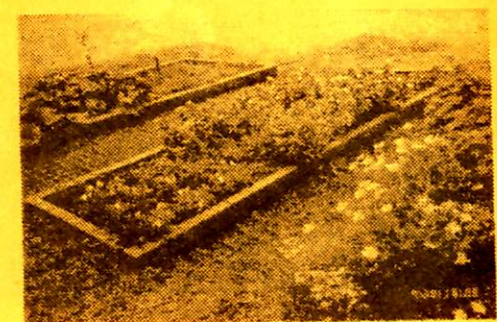
最終回は、平行して模擬訓練が行われた練馬区の貫井地区とともに、東京都庁舎で行われた「震災復興シンポジウム」に参加し、大通り商店会から参加された榎本さんが経過の報告を行い、パネルディスカッションで一言会の佐原理事が感想などを述べました。

立派な花壇となりました

瓦版49号で募集した、一言集会所前の花壇を育てていただく皆さんが次の四名の方に決まりました。

- 高橋 保 さん（東向島一在住）
- 田中 孝一 さん（向島五在住）
- 森山 照代 さん（東向島一在住）
- 桜田 勝子 さん（東向島三在住）

2月から皆さんが丹誠を込めて手入れをしてくれたおかげで、今年の集会所はより楽しい「まちのひろば」になりました。



いらっしやいませ 見学の皆様

- 平成15年
- 2/4 港区議会まちづくり研究会
- 2/14 国際地域開発センター「ベトナム国都市開発研修」
- 5/30 国際地域開発センター「開発途上国都市開発研修」
- 7/25 東京都建築・防災まちづくりセンター「まちづくりフロント研修」
- 8/26 震災復興模擬訓練「プレまち歩き」
- 8/28 大阪外国語大学生「向島留学」(5人)
- ～9/7
- 9/6 震災復興模擬訓練「まち歩き」
- 9/18 日上市豊浦地区婦人会まちづくり協議会
- 10/26 江戸川区西瑞江地区まちづくり協議会

(平成14年12月からのまちづくり事業部扱い等)

